

# 名市工 NEWS

<第217号>

## 飛行機同好会，地域防災向け航空技術の開発計画を発表！

9/27~28, 毎年恒例の文化祭が開催され、工業高校生らしいものづくり系のコンテンツが今年もたくさん出展されました。多くの来場者（保護者、卒業生、近隣の中学生・他校生・住民の方々）が訪れて校内が賑わう中、飛行機同好会は、新型機開発物語と題して、活動報告の中で地域防災向け航空技術の開発計画を発表しました。

今年、日の丸飛行艇100年、前身校の一つである航空工業学校の創立80年、観測史上日本最大の風水被害をもたらした伊勢湾台風60年という節目の年に当たります。現在、東海地方は、巨大な台風や地震が起こる可能性と同時に、濃尾平野沿岸部では大規模な水難が生じる可能性があるそうです。飛行機同好会は、このような水難時に活躍する防災向け支援技術として航空技術、特に飛行艇に注目し、伊勢湾台風と併せて調査。同台風の60年（9/26）と文化祭での活動報告を契機に、新型機の開発計画を発表しました。現在、機体コンセプトの詳細を検討中ですが、今後は、RC縮尺模型機を製作し、年度末に名古屋市科学館で成果発表をする予定です。



飛行艇の調査 左から 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館, 岩国基地, 新明和工業甲南工場



伊勢湾台風の調査 左から 南図書館伊勢湾台風資料室, 港防災センター, 愛知県図書館



飛行機同好会の文化祭出展物と発表 左上から PR看板, 壁面用パネル, その他は発表の様子